第 74 号

from M

岸和田市郷土文化課自然資料館（自然史担当）・郷土史担当・文化財担当

令和元年 6 月 11 日

関西恐竜情報

谷本　正浩

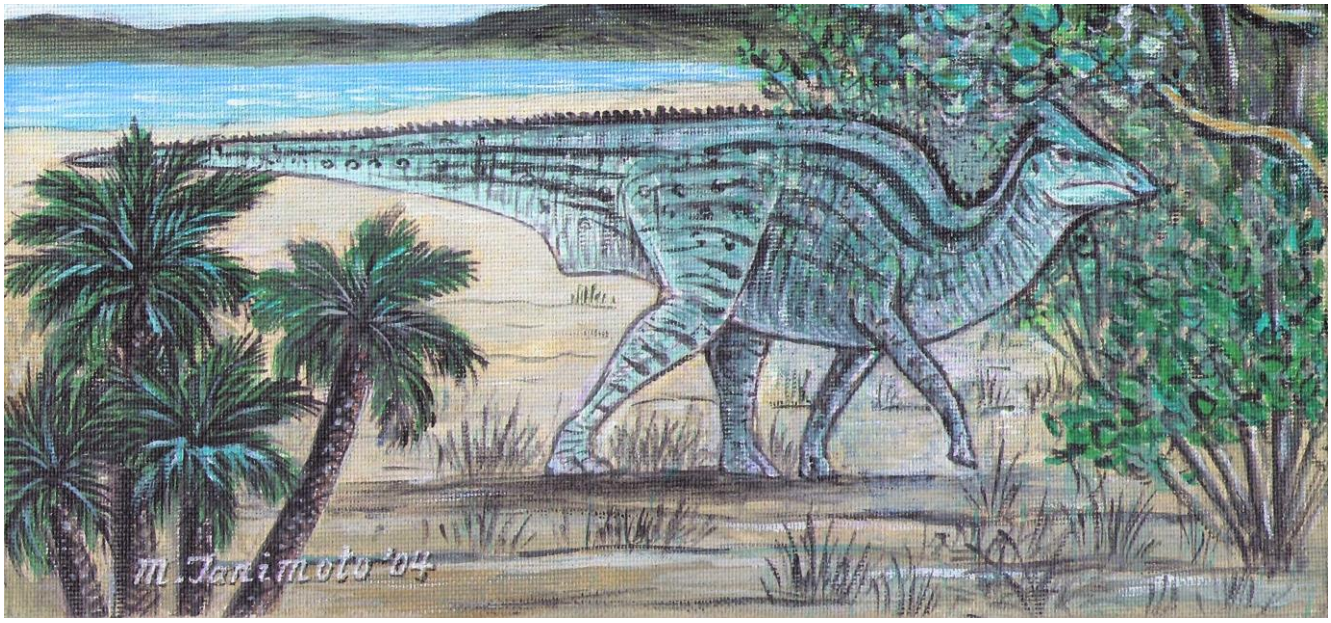

図 1. 淡路島から発見されたカモハシリュウの復元画（著者作品より）

きしわだ自然資料館に化石が展示されているモササウルス類は，大阪府南部の貝塚市などでも見つかっている恐竜時代の海の爬虫類です．恐竜と混同されることもありますが，正式な分類学上は恐竜ではありません．モササウルス類と同じように恐竜と混同されることが多い長頚竜（首長竜）や翼竜も恐竜ではないのでここでは扱わず，学術的に恐竜とされる動物の化石に限った「関西恐竜情報」を県別に紹介します．なお恐竜時代とも呼ばれる中生代は，古い順に三畳紀，ジュラ紀，白亜紀に分かれています．日本で恐竜化石が見つかっているのはおもに中生代の最後の時代である白亜紀の地層からで，関西では今のところ白亜紀の地層からしか見つかっていません．

（1）三重県の恐竜化石

三重県では，1996 年に鳥羽市の海岸(図２)で見つかった白亜紀前期の竜脚類トバリュウが有名です．それまで 1 個の歯や骨くらいしか見つかっていなかった日本の恐竜化石でしたが，当時としては初めて，複数の部位の化石によって知られる恐竜として，新聞の一面を飾りました．トバリュウの産地では大型鳥脚類の足跡化石も見つかっています．

（2）和歌山県の恐竜化石

和歌山県では 2 種の獣脚類の歯化石が見つかっています．いずれも白亜紀前期の化石で，ワニの歯のような形をしたスピノサウルス類の歯は，2018 年に見つかったばかりです．

（3）兵庫県の恐竜化石

兵庫県では，白亜紀前期と白亜紀後期の地層の両方から恐竜化石が見つかっています．兵庫県で初めて見つかった恐竜化石は，2004 年に淡路島の白亜紀後期の和泉層群と呼ばれる地層で見つかったカモハシリュウ類の化石で，歯がしっかりと残っている下顎の骨などを含む，部分的な骨格によって知られています（図 1）．その後，2006 年に見つかった丹波地域に分布する白亜紀前期の篠山層群と呼ばれる地層から見つかったタンバリュウは，三重県のトバリュウと同じ竜脚類に属しますが，さらに保存状態が良く，多くの部位が化石として見つかりました．そして研究の結果，これまで知られている世界中のどの竜脚類とも違う特徴が確認できたので，新属新種として発表されました．篠山層群では，その他に獣脚類や鳥盤類のいくつかの種類の化石も見つかっていますし，恐竜の卵の化石は新種として論文発表もされています．兵庫県は関西でもっとも恐竜化石が豊富に産出している地域といえます．

奈良県，滋賀県，京都府，大阪府では，恐竜化石が見つかったというニュースは，これまでのところ入ってきていません．その中で，これから恐竜化石が見つかりそうなのは大阪府です．大阪南部の和泉山脈に分布する和泉層群の地層から恐竜化石が見つかる可能性は高いでしょう．同じ和泉層群の地層が分布する兵庫県の淡路島では，上で述べたように恐竜化石が見つかっているからです．恐竜時代の海の爬虫類モササウルス類の化石も見つかる大阪府の和泉層群の地層から，あなたの手で恐竜化石を発見してください．

（たにもとまさひろ　きしわだ自然資料館専門員）

図 2．トバリュウの化石が見つかった三重県鳥羽市の海岸．ここでは白亜紀前期の化石も礫として混じっており，貝類の化石をはじめ恐竜の骨のかけらが見つかることもある（2017 年 8 月 5 日のきしわだ自然友の会の夏合宿での観察風景）

岸和田城でカード集め！

杉本　久実

岸和田城では、平成 29 年 10 月より上記のような「はくふだ」というミュージアムカードを配布しています。これは、平成 29 年度文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」で実施されることとなった事業で、市町村の枠を超えて「地域」の歴史資産や文化資源の魅力を掘り起こすことを目的とし、泉州地域の 8 つの博物館等が参加しています。

「はくふだ」を集めるためには、事業参加館を訪れ、体験やクイズなどのコンテンツ（ミッションカードと呼ばれるもの）に参加し、カード 1 枚とスタンプシートを手に入れます。一度でも訪れたことがある博物館のカードは、スタンプシートを見せることで他館でもらうことも出来ます。カードは各館 4 種類あり、全 8 館で計 32 枚のオリジナルカードを集められます。カードは 1 日（1 回）1 枚もらえ、イベントなどでも配布しています。全てのカードを集めると、中核館の弥生文化博物館で認定証がもらえます。

岸和田城も中核館の弥生文化博物館の呼びかけにより、この事業に参加しています。「来館の記念になる」、「カード集めが好きで」等、老若男女問わず幅広い世代に人気を博しており、喜んで頂いています。また、クイズに参加してもらうことで、展示内容に興味を持ち、より深く見ていただくことが出来ています。

岸和田城のはくふだは、岸和田城庭園八陣の庭・岸和田藩 3 代藩主岡部長泰公の甲冑・本徳寺所有の明智光秀公の肖像画（岸和田城天守閣に複製した掛け軸が展示中）・岸和田市のゆるキャラ「ちきりくん」の 4 枚となっていて八陣の庭のスケッチや、天守閣や岡部氏に関するクイズに答えると、はくふだがもらえます。

カード収集のとりこになり、「これほど連続的に岸和田城を訪れたのは初めて」などの嬉しいお声も寄せられています。子どもだけでなく大人も楽しめ、家族で博物館巡りに出かけるきっかけとなっているようです。

（すぎもとくみ　岸和田市観光振興協会）

Information

●自然資料館の展示・講演会

企画展「岸和田今昔物語～ちょっと昔の自然と風景」

明治・大正期から戦後すぐにかけて、岸和田市域で撮影された牛滝山・和泉葛城山・岸和田の浜などの古い写真と、その当時に採集された動植物標本を展示します。現在の岸和田の自然や風景を比較してみてください。

会　期：2019 年 6 月 1 日（土）～6 月 30 日（日）
時　間：午前 10 時～午後 5 時（入場は午後 4 時まで）
休館日：毎週月曜日
場　所：きしわだ自然資料館 1 階ホール（堺町）
入場料：無料（常設展は高校生以上 200 円）

夏休みの行事

きしわだ自然資料館では、夏休みにさまざまなイベントを行っています。詳細は、「広報きしわだ」や館のホームページでご確認ください。

事前申込が必要な行事

6 月 1 日から申込受付

◇タコのすむ磯の観察会（6 月 30 日）
◇昆虫採集と標本づくり（7 月 7 日）
◇貝採集と標本づくり（7 月 14 日）

7 月 1 日から申込受付

◇子どものための地学教室（8 月 3 日）
◇植物採集と標本づくり（8 月 4 日）
◇阪南 2 区人工干潟の観察会（8 月 12 日）

8 月 1 日から申込受付

◇ティラノサウルス全身模型をつくろう（8 月 25 日）
◇大阪湾の宝島「成ヶ島」観察会（8 月 31 日）

申込不要・先着順の行事

◇自然資料館の展示を見てお絵かきしよう（7 月 7 日終日・先着 100 名）
◇天王寺動物園の獣医さんのお話（7 月 14 日午後 2 時～4 時・先着 20 名）
◇海の日まつり（7 月 15 日午後 1 時 30 分～午後 4 時）
◇自由研究見本市（7 月 21 日午後 1 時 30 分～3 時 30 分）
◇ビーズで身近なトンボをつくろう（7 月 28 日午後 2 時～4 時・先着 20 名）
◇自然資料館の展示を見てお絵かきしよう（8 月 4 日終日：先着 100 名）
◇山の日まつり（8 月 11 日午後 1 時 30 分～午後 4 時）
◇自由研究相談会（8 月 17 日午後 1 時 30 分～3 時 30 分）
◇わたしだけのオリジナル絵本をつくろう（8 月 18 日午後 2 時～4 時・先着 20 名）

●岸和田城の展示

「四季を彩る絵画展」

岸和田市所蔵の絵画の中から「四季の美しさ」を表現した作品を集めた絵画展です。

会　期：2018 年 12 月 19 日（水）～2019 年 9 月 1 日（日）
時　間：午前 10 時～午後 5 時（入場は午後 4 時まで）
休場日：平日の月曜日・修繕のための臨時休館あり
場　所：岸和田城天守閣（岸城町）
入場料：高校生以上 300 円・中学生以下無料

※お願い　[fromM]は，学校教職員に１部ずつお配りください．
担当の方はお忙しいところ申し訳ありませんが，よろしくお願い申し上げます．

【from M】では，みなさまからのご意見，ご感想，ご質問等をお待ちしています．博物館での学習，研究等に関する情報，地域の自然環境や歴史に関する面白いトピックスなどがありましたら，ぜひご投稿ください．お名前，連絡先，所属等をご記入の上，右記の宛先までお送りください．電子メールでも受け付けています．

連絡・問い合わせ先

〒596-0072 岸和田市堺町 6-5　きしわだ自然資料館
TEL：（072）423- 8100　FAX：（072）423- 8101
Email：sizen@city.kishiwada.osaka.jp
自然資料館ホームページ URL：
http://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/shizenshi/
（Yahoo Japan の検索で「きしわだ」と入力し，検索すれば，簡単です）